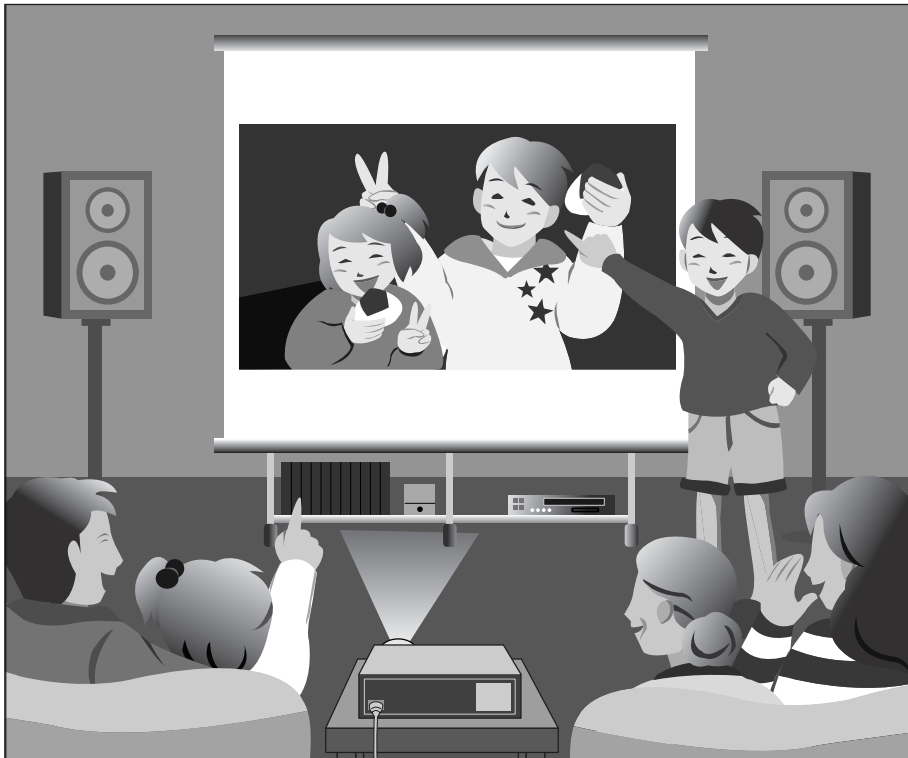
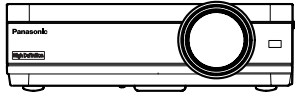
Panasonic

液晶プロジェクター

取扱説明書

品番 TH-AE500

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

■製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、
製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

TQBH0144

もくじ

はじめに

準　備

基本の使い方

便利な機能

調整・設定

点検・お手入れ

その他

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

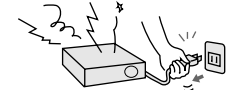
	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠警告

■煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

⚠警告

■天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する

工事の不備があると事故の原因となります。

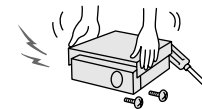
■使用中は投写レンズをのぞかない

禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

■カバー、ケースを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

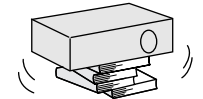
高圧注意

サービスマン以外の方は、ケースをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

禁止

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- 修理は販売店にご依頼ください。

■上に水などが入った容器を置かない

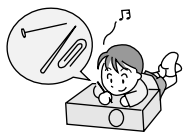
禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

⚠警告

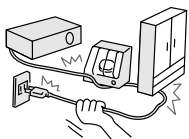
■異物を入れない

禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこりは定期的に掃除をする

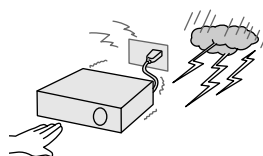
電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■排気孔には手や物を近づけない

禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ
禁止

火災・感電の原因となります。

⚠警告

■風呂場、シャワー室では使用しない

禁止

火災・感電の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手
禁止

感電の原因となります。

■単4形乾電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

飲み込むと窒息死の原因となります。
- 万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

■電池の＋・−部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。
- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

■ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く

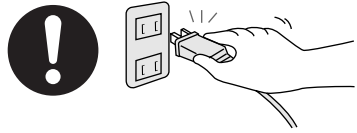
電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待って)行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く

コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、必ず接続線を外す

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない

禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります

■電池を入れるときは極性表示(＋と－の向き)に注意する

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■指定以外の電池を使用しない

禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■上に重い物を置かない

禁止
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

禁止
火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■吸気孔や排気孔をふさがない

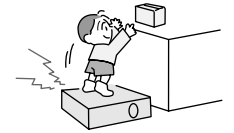
禁止
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

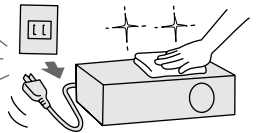
■ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う

本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

■本機に乗らない

禁止
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

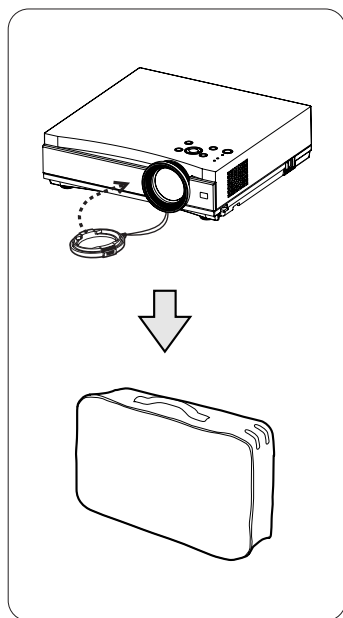
■1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズカバーを取り付けて、付属のキャリングバッグを利用してください。

設置に関する留意点

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

妨害を受ける場合があります。

本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

別売りの天つり金具(品番：TY-PKE300)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

海抜1 400 m以上でのご使用に際しては、45ページの「ファン制御」を「高」に設定してください。

そのまま使用すると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

使用上の留意点

美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

投写レンズは素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映ります。また本機を使用されないときは、レンズカバーを被せておいてください。

スクリーンについて

スクリーンに変色の原因となる揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

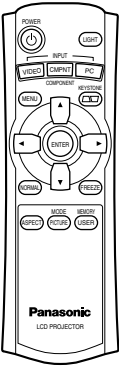
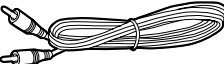
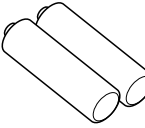
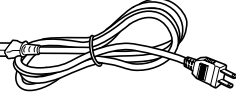
液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合があります。また、静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の残像現象を起こす恐れがありますが、あらかじめご了承ください。

光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプには次のような特性があります。

- 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用や頻繁な電源オン／オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。交換時期や交換方法については49ページをご覧ください。

廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。

リモコン 1個 (N2QAEA000018)	映像ケーブル　1本 (3.0 m、 K2KA2FA00003)	リモコン用単4形乾電池 2個
	電源コード 1本 (K2CA2FR00001)	キャリングバッグ 1個 (TPEP008)

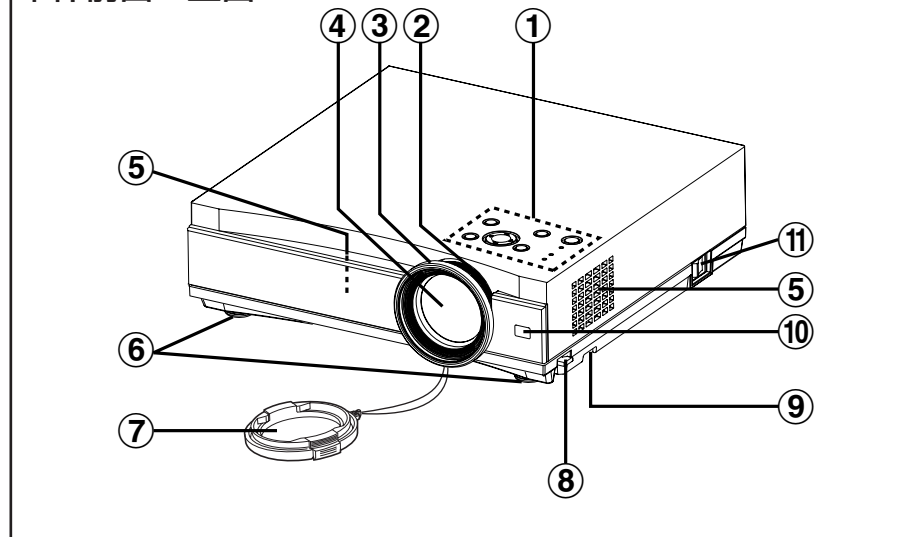
注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注意

パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

各部の名前と働き

本体前面・上面

① **本体操作部** (16ページ)

② **ズームリング** (25ページ)

③ **フォーカスリング** (25ページ)

④ **投写レンズ**

⑤ **吸気孔**
ふさがないようにしてください。

⑥ **前方アジャスター脚(左・右)** (25ページ)

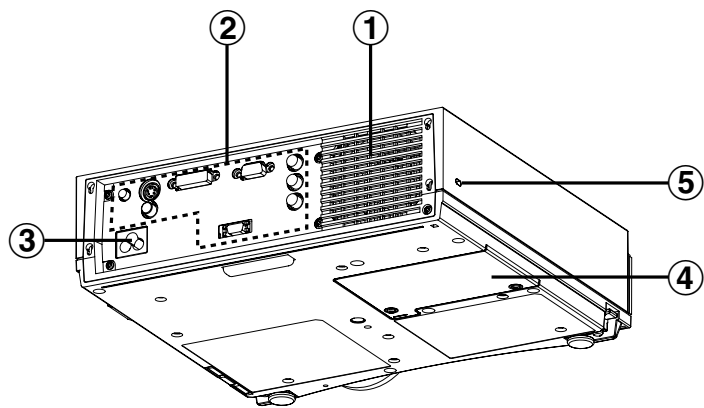
⑦ **レンズカバー**

⑧ **アジャスターボタン(左・右)** (25ページ)
本機底面の前方アジャスター脚のロックを解除できます。押しながら本機の傾きを調整します。

⑨ **エアーフィルター** (48ページ)

⑩ **リモコン受光部** (23ページ)

⑪ **主電源(MAIN POWER)スイッチ** (24、26ページ)

本体後面・底面

①排気孔
ふさがないようにしてください。

②接続端子部 (15ページ)

③AC入力(AC IN)端子 (24ページ)
付属の電源コードを接続します。付属のもの以外は接続しないでください。

④ランプユニット収納部 (49ページ)

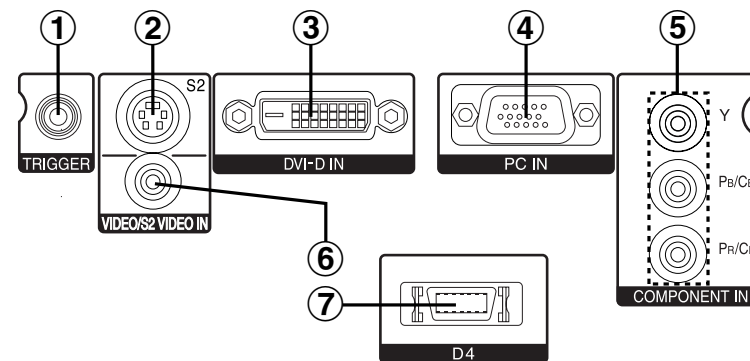
⑤盗難防止用ロック
市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。
また、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総代理店の連絡先は以下の通りです。

警告

■排気孔には手や物を近づけない

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

日本ポラデジタル株式会社　第3営業部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
Tel：**03-3537-1070**　　Fax：**03-3537-1071**
※連絡先は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

接続端子部

①トリガー（TRIGGER）出力端子 (20、21、22ページ)
電源を入れると12 Vを出力する端子です。電動スクリーンなどに接続します。

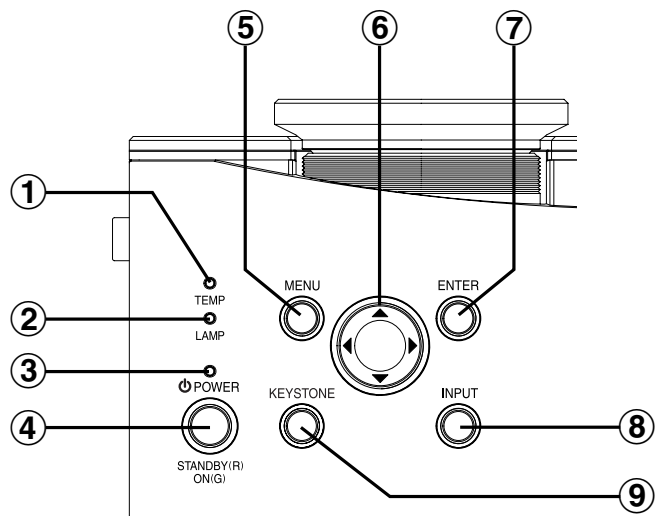
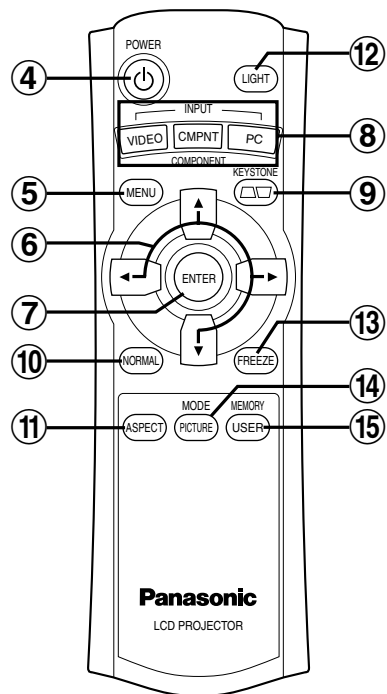
②S2映像(S2 VIDEO IN)入力端子 (20ページ)
Sビデオ対応のビデオデッキなどからの信号を入力する端子です。

③DVI-D(DVI-D IN)入力端子 (22ページ)
DVI-D信号を入力する端子です。

④RGB(PC IN)入力端子 (22ページ)
パソコンからのRGB信号を入力する端子です。

⑤コンポーネント映像(COMPONENT IN)入力端子 (21ページ)
DVDプレーヤーなどのコンポーネント(色差)信号対応機器からの信号を入力する端子です。

⑥映像(VIDEO IN)入力端子 (20ページ)
ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。

⑦コンポーネント映像（D4）入力端子 (21ページ)
D1映像、D2映像、D3映像、D4映像のいずれかの出力端子のある機器からの信号を入力する端子です。

① **温度(TEMP)モニター** (46ページ)
本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。一定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。

② **ランプ(LAMP)モニター** (47ページ)
ランプユニットの交換時期になると点灯します。ランプ回路に異常が発生すると点滅します。

③ **電源モニター** (24、26、27ページ)
主電源を入れると、赤色に点灯し電源が入り、投写を開始すると緑色に点灯します。

④ **電源(POWER)ボタン** (24、26ページ)

⑤ **メニュー(MENU)ボタン** (36ページ)
メインメニューを表示させます。メニューが表示されているときは、前の画面に戻したり、メニューを消せます。

⑥ **▲▼◀▶ボタン** (36ページ)
オンスクリーンメニューの項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行います。

⑦ **エンター(ENTER)ボタン** (36ページ)
オンスクリーンメニューの項目を実行します。

⑧ **入力切り換え(INPUT)ボタン** (25ページ)
接続した機器の入力信号を切り換えます。

⑨ **台形補正(KEYSTONE)ボタン** (28ページ)
本機を傾けて設置した場合の台形ひずみを補正する台形補正メニューを表示させます。

⑩ **ノーマル(NORMAL)ボタン** (37ページ)
調整値を工場出荷状態に戻します。

⑪ **アスペクト(ASPECT)ボタン** (30、31ページ)
アスペクト設定(画面の縦横比)を切り換えます。

⑫ **ライト(LIGHT)ボタン** (32ページ)
ボタン照明を点灯させます。

⑬ **フリーズ(FREEZE)ボタン** (32ページ)
動画を一時的に静止させます。

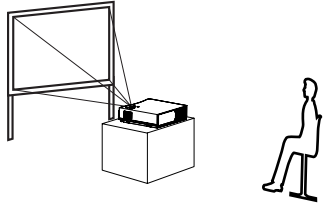
⑭ **映像メニュー(PICTURE MODE)ボタン** (29ページ)
映像メニューを表示させます。

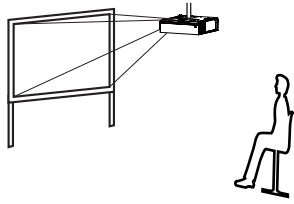
⑮ **メモリー呼び出し(USER MEMORY)ボタン** (33ページ)
メモリー呼出メニューを表示させます。

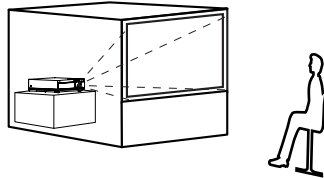
設置する

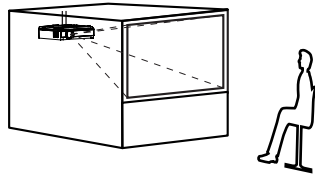
投写方式

本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。(投写方式の設定は「その他の設定」メニューで行うことができます。45ページをご覧ください。)

• 床置き前方投写

メニュー項目	設定値
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア

• 天つり前方投写

メニュー項目	設定値
投写方式1	フロント
投写方式2	シーリング

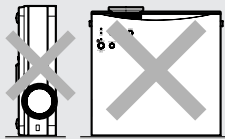
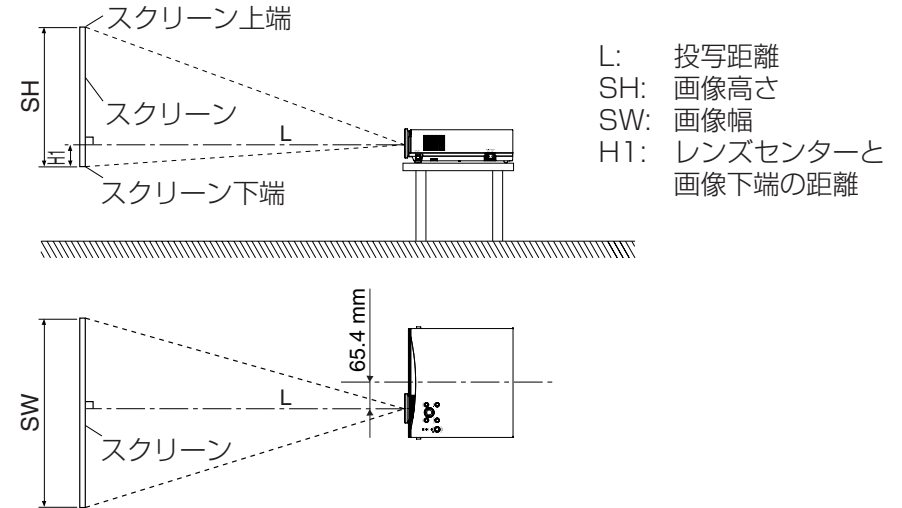
• 床置き後方投写
（透過スクリーン使用）

メニュー項目	設定値
投写方式1	リア
投写方式2	フロア

• 天つり後方投写
（透過スクリーン使用）

メニュー項目	設定値
投写方式1	リア
投写方式2	シーリング

お知らせ

• 天つり(シーリング)設置には、別売りの天つり金具(TY-PKE300)が必要です。

お願い

• 本機を立てて使用しないでください。故障の原因となります。
• 本機を傾ける場合は、±30度以内の設置をおすすめします。本機を±30度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

投写関係

投写距離

画面サイズ(16:9)			投写距離(L)		高さ位置(H1)
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)	
40	0.50 m	0.89 m	1.2 m	1.4 m	0.03 m
50	0.62 m	1.11 m	1.6 m	1.8 m	0.04 m
60	0.75 m	1.33 m	1.9 m	2.2 m	0.04 m
70	0.87 m	1.55 m	2.2 m	2.5 m	0.05 m
80	1.00 m	1.77 m	2.5 m	2.9 m	0.06 m
90	1.12 m	1.99 m	2.8 m	3.3 m	0.06 m
100	1.24 m	2.21 m	3.1 m	3.7 m	0.07 m
150	1.87 m	3.32 m	4.7 m	5.6 m	0.10 m
200	2.49 m	4.43 m	6.2 m	7.4 m	0.14 m

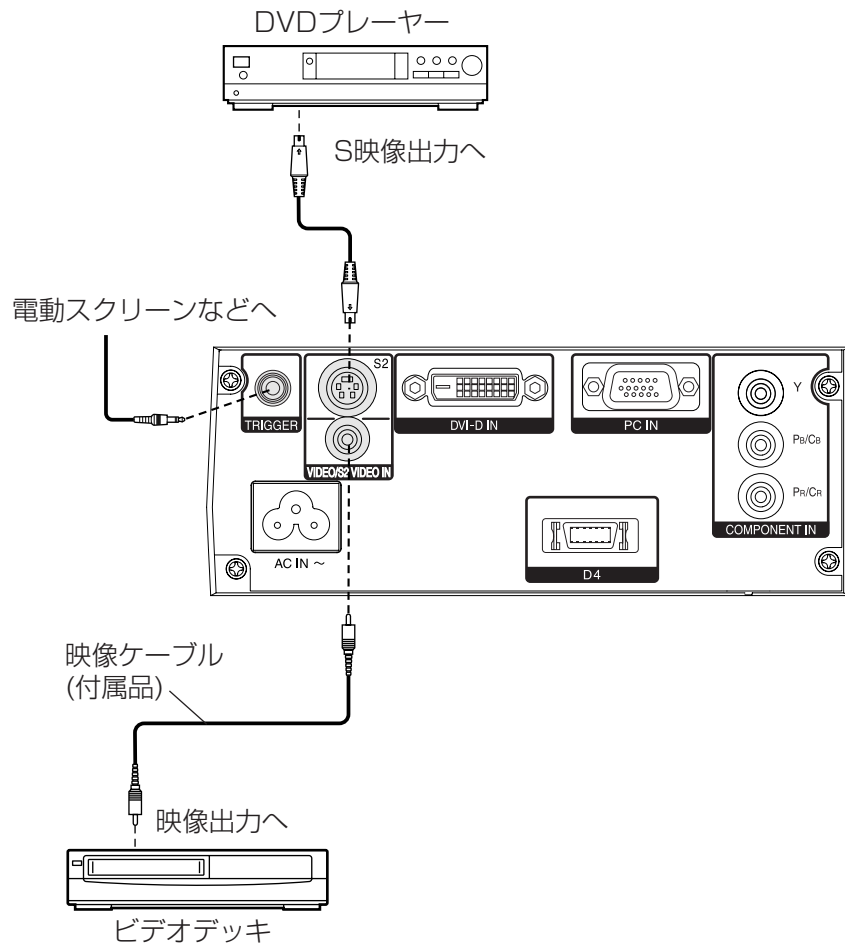
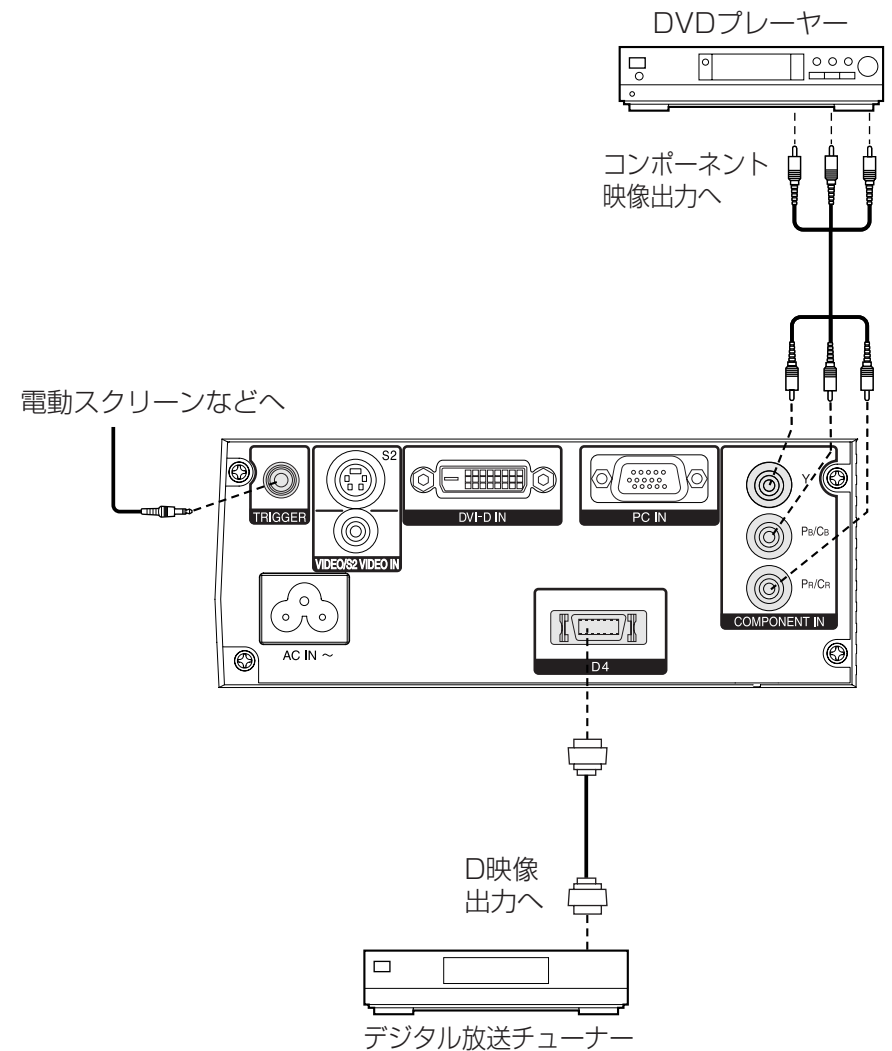
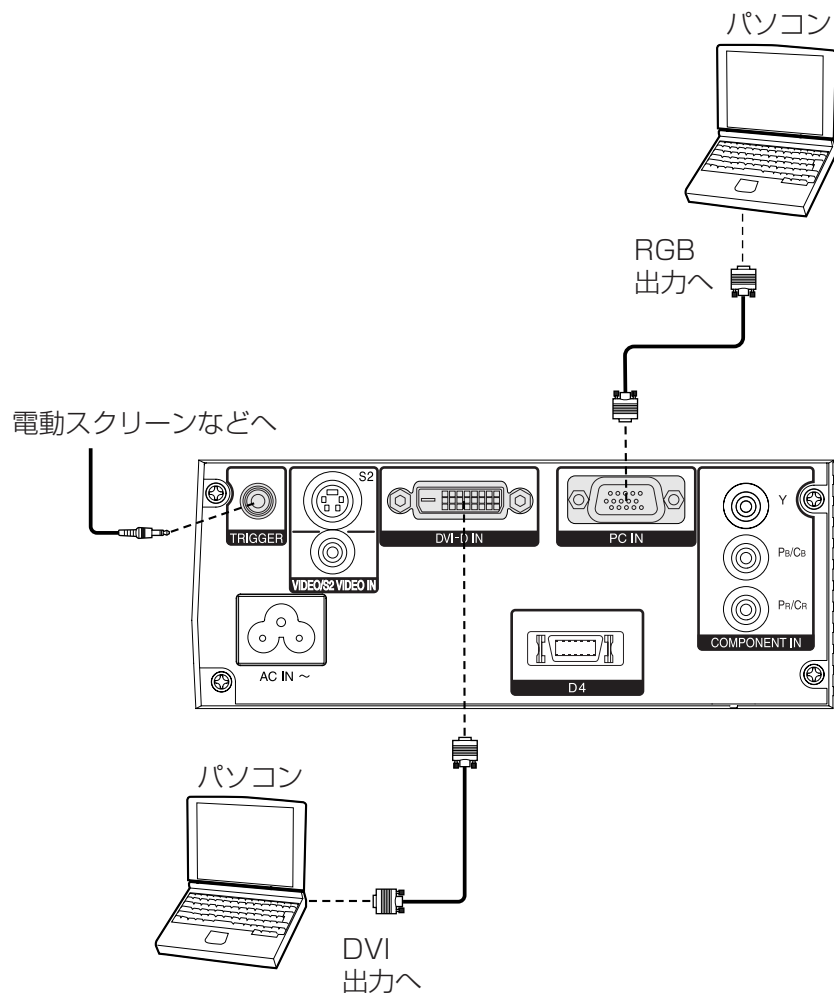
お知らせ

• 上記の表の寸法は若干の誤差があります。
• 詳細な投写距離が必要な場合は、58ページをご覧ください。

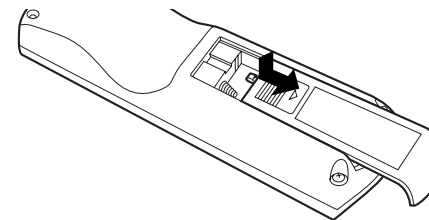
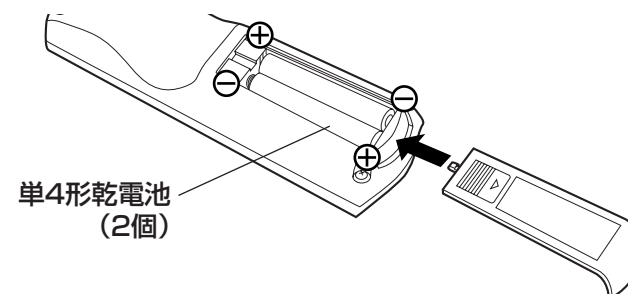
接続する

接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 本機と接続できる映像信号については、56ページの対応信号リストをご覧ください。
- 音声入力端子はありませんので、接続される機器の音声はオーディオ機器などに接続してください。

AV機器

コンポーネント映像信号〔YPBPR(YCBCR)、D1/D2/D3/D4〕対応機器

パソコン

※DVI接続時は、EDID設定が必要です。(45ページ)

リモコンを準備する

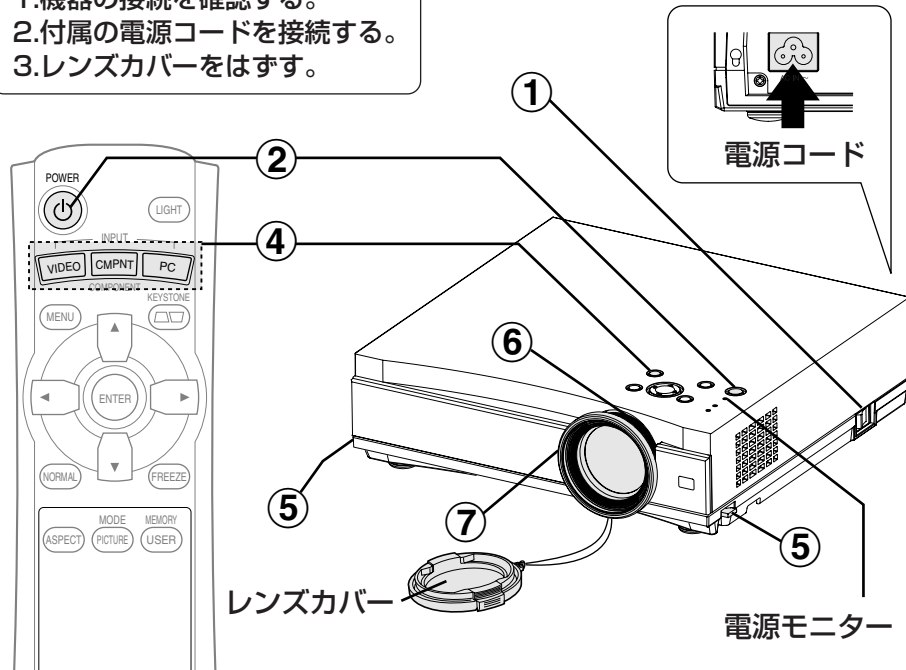
① ふたをあける。

② 向きに注意して乾電池を入れ、ふたをしめる。

お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 充電式電池は使用しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接本機の前面/後面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約7 m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、本機が誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

電源を入れて投写する

電源を入れる前に
1.機器の接続を確認する。
2.付属の電源コードを接続する。
3.レンズカバーをはずす。

① 主電源スイッチをONにし、電源を入れる。
(MAIN POWER)

● 電源モニターが赤色に点灯。

② 電源ボタンを押す。
(POWER)

● 電源モニターが緑色に点滅し、しばらくすると点滅から点灯に変わり、投写を開始します。

③ 接続機器の電源を入れる。

● DVDプレーヤーなどは、再生操作を行う。

お知らせ

- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。

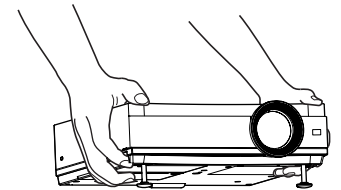
④ 入力切り換えボタンで、入力信号を選択する
(INPUT)

本体	入力切り換えボタン	INPUT		
	切り換え動作	VIDEO → S-VIDEO → Y·PB·PR → D4 → PC → DVI → VIDEO		
リモコン	入力切り換えボタン	VIDEO	CMPNT	PC
	切り換え動作	VIDEO ↕ S-VIDEO	Y·PB·PR ↕ D4	PC ↕ DVI

● 選択した入力信号の映像が投写されます。

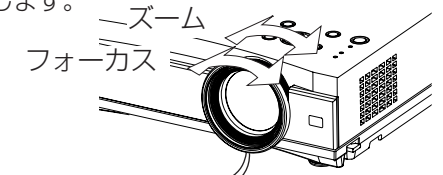
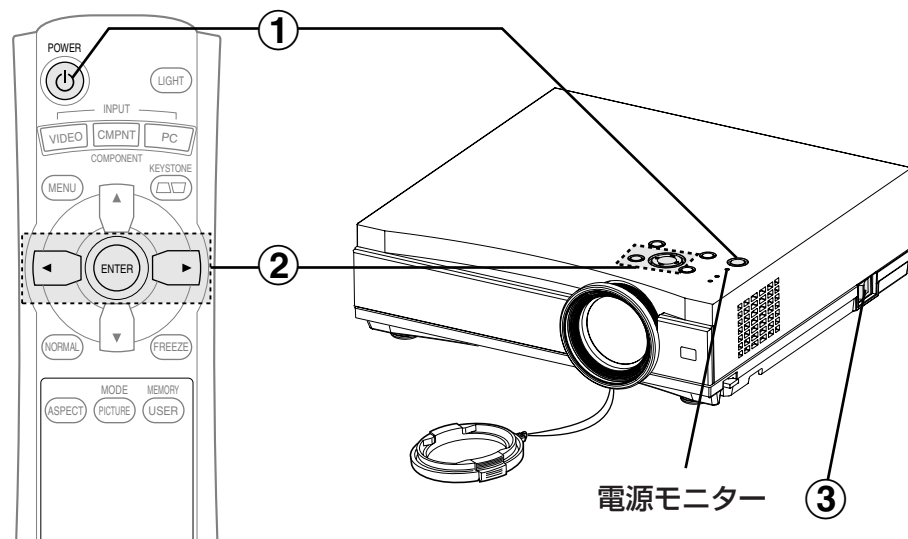
はじめて設置されるときや、場所を変えて設置されるときは、つづけて下記の調整を行ってください。

⑤ 投写角度を調整する。

● アジャスターボタンを押しながら、上下に調整します。
できるだけ、スクリーンと垂直になるように調整してください。

⑥ 投写サイズを調整する。

● ズームリングを回して、調整します。

⑦ フォーカス（ピント）を調整する。

● フォーカスリングを回して、調整します。

電源を切る

① **電源ボタンを押す。**
(POWER)
● 画面に電源OFF確認画面が表示。

電源OFFします
実行　中止

② **◀▶ボタンで「実行」を選び、エンターボタンを押す。**
(ENTER)
● ランプが消え映像の投写を停止。(冷却ファンは回転したまま、電源モニターがオレンジ色に点灯します。)

③ **電源モニターが赤色に点灯したら、主電源スイッチをOFFにする。**
(MAIN POWER)

● 冷却ファンが回転している間は絶対に主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

お知らせ

- 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、ランプ点灯時や消灯時は動作音が大きくなります。
- 「その他の設定」メニューの「ランプパワー」を「エコノミー」に設定すると、動作音が低減します。(45ページ参照)
- 電源(POWER)ボタンを2回押しても電源を切ることができます。また、電源(POWER)ボタンを0.5秒以上押しても電源を切ることができます。
- 本機はスタンバイ状態で冷却ファンが停止(本体の電源モニターが赤色に点灯)した状態でも約0.5 Wの電力を消費しています。

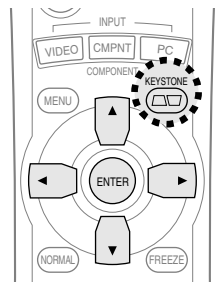
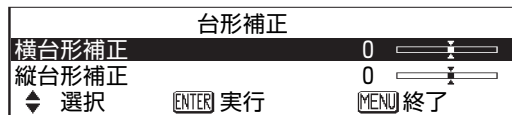
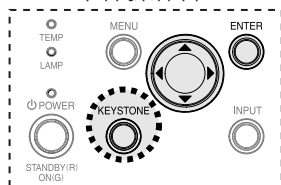
電源モニターについて

点灯状況		本機の状態
赤色	点灯	電源(POWER)ボタンで映像投写可能なスタンバイ状態。
緑色	点滅	赤色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。(しばらくすると映像を投写します。)
	点灯	映像投写状態。
オレンジ色	点灯	電源オフ後のランプの冷却状態。(冷却ファンが回転しています。)
	点滅	オレンジ色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。(しばらくすると映像を投写します。)

台形ひずみを補正する (KEYSTONE)

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていると台形ひずみが発生します。このような場合は、次の手順に従って台形ひずみを補正してください。

本体操作部

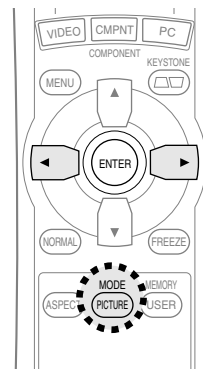
台形補正ボタンを押す。
(KEYSTONE)

台形補正		
横台形補正	0	
縦台形補正	0	
▲▼ 選択	ENTER 実行	MENU 終了

● ▲▼ボタンで補正したい方向を選び、エンター(ENTER)ボタンを押し、下記のように台形ひずみを補正します。

横方向の台形補正		
操作	▶ボタンを押す	◀ボタンを押す
縦方向の台形補正		
操作	▶ボタンを押す	◀ボタンを押す

● メニュー(MENU)ボタンで、元の画面に戻せます。

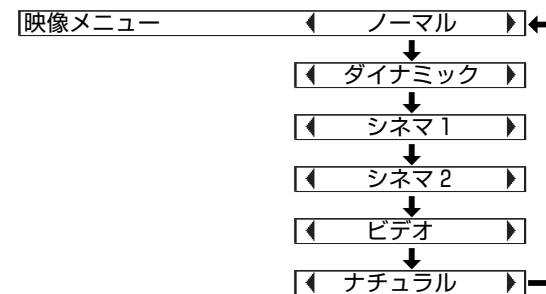
お知らせ

- メインメニューの「台形補正」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押して、台形補正を行うこともできます。
- 台形ひずみは、縦方向および横方向の傾きに対して±30度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。なるべく、よい画質で投写したい場合はできるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。

映像メニューを選ぶ (PICTURE MODE)

ご覧になる映像に合わせて最適な映像に設定することができます。

映像メニューボタンを押す。
(PICTURE MODE)

映像メニュー	◀ ノーマル ▶

● ◀▶ボタンで映像メニューを選択してください。

ノーマル ……… 一般的な映像をご覧になる場合

ダイナミック … 明るい部屋で楽しむ場合

シネマ1 ………… 米国ハリウッドのトップカラーリストとつくりこんだモード、しっとりとした画質で映画を楽しむ場合

シネマ2 ………… クリアでコントラスト感豊かに映画をご覧になる場合

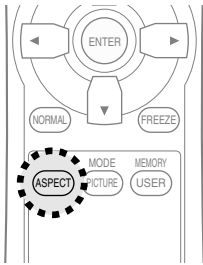
ビデオ ………… ミュージック、スポーツなどのビデオ素材をご覧になる場合

ナチュラル …… 映像の素材に忠実な色を再現したい場合

お知らせ

- 「映像の調整」メニューでも切り換えることができます。

映像の縦横比を切り換える（ASPECT）

本機は、入力信号に合わせて最適なアスペクト比（映像の縦横比）に切り換えることができます。

アスペクトボタンを押す。

（ASPECT）

● ボタンを押すごとに下表のように切り換わります。
● 入力信号と設定の関係は、次ページの表の通りです。参考にして設定してください。

Sビデオ/D映像 ビデオ/YPBPR	AUTO➡4:3➡16:9➡ジャスト➡ズーム
PC	4:3➡16:9➡Vスクロール
DVI	4:3➡16:9
	(525p、625p信号の場合) 4:3➡16:9➡ジャスト➡ズーム

●「AUTO」に設定すると入力信号にアスペクト比の識別信号があれば、自動的に切り換えます。

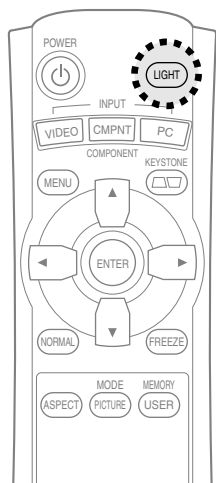
お願い

- 本機はアスペクト比切り換え機能を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、アスペクト比をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像でご覧ください。

お知らせ

- 下記の信号は、画素数が16:9の信号です。これらの信号を入力中はアスペクト比が固定されているため切り換えできません。(56ページ参照)
  HDTV60、HDTV50、750p、WIDE480/600/720/768/768-2
  ただし、WIDE768のみ「Vスクロール」の切り換えができます。
- ビデオ、YPBPRの信号の場合、「AUTO」が表示されない場合があります。
- シネマビジョンサイズなどの16:9よりも横長の映像を投写すると上下に黒い領域ができることがあります。
- 「画面位置の調整」メニューでも切り換えることができます。

アスペクト	入力信号	投写画面
4:3	4:3信号	4:3
16:9	スクイーズ(横方向に圧縮された)信号	横方向に拡大
ジャスト	4:3信号	横方向に拡大 (画面中心は歪みが少なくなります)
ズーム	レターボックス信号	比率を保って拡大
Vスクロール (XGA、MXGA、SXGA、WIDE768の信号のみ)	4:3信号	拡大、縮小せずに投写 (▲▼ボタンで垂直位置を調整できます)

ボタン照明を点灯させる (LIGHT)

ライトボタンを押す。
(LIGHT)

● リモコンのボタン照明が点灯します。
● ボタン照明を消す場合は、もう一度ライトボタンを押してください。また、10秒間ボタン操作をしなかった場合は、自動的に消灯します。

映像を静止させる (FREEZE)

フリーズボタンを押す。
(FREEZE)

● 投写中の映像が静止します。
● もう一度、フリーズボタンを押せば、静止状態を解除できます。

保存した映像調整を呼び出す (USER MEMORY)

40ページで映像調整した設定内容をメモリー保存すれば、かんたんに設定を呼び出すことができます。

メモリー呼び出しボタンを押す。
(USER MEMORY)

●「メモリー呼出」メニューが表示されます。
▲▼ボタンで呼び出したいメモリー番号を選び、エンター（ENTER）ボタンを押してください。

お知らせ

• 「メモリー保存」（40ページ）で保存したメモリー番号のみが表示されます。

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。
本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

メインメニュー

メニュー（MENU）ボタンを押すとメインメニュー画面が表示されます。
メニュー画面の操作方法については、36ページをご覧ください。

台形補正（28ページ）

台形補正	
横台形補正	0
縦台形補正	0
◆ 選択　ENTER 実行	MENU 終了

映像の調整（38ページ）

Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像の調整	
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
カラー方式	◀ AUTO ▶
◆ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

YPBPR/D映像/PC信号入力時

映像の調整	
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
表示モード	5 2 5 I
◆ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

DVI信号入力時

映像の調整	
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
表示モード	S V G A
◆ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

画面位置の調整（42ページ）

Sビデオ/ビデオ/DVI信号入力時

画面位置の調整	
水平画面位置	0
垂直画面位置	0
アスペクト	◀ 16：9 ▶
◆ 選択　ENTER 実行	MENU 終了

※DVI信号入力時は、「アスペクト」の設定のみ行えます。

YPBPR/D映像信号入力時

画面位置の調整	
水平画面位置	0
垂直画面位置	0
クロック位相	0
アスペクト	◀ 4：3 ▶
◆ 選択　ENTER 実行	MENU 終了

PC信号入力時

画面位置の調整	
水平画面位置	0
垂直画面位置	0
クロック調整	0
クロック位相	0
アスペクト	◀ 4：3 ▶
自動位置補正	
◆ 選択　ENTER 実行	MENU 終了

シャッター（43ページ）

その他の設定（44ページ）

その他の設定	
OSD表示	◀ オン ▶
ノイズリダクション	◀ オン ▶
PCワイド判別	◀ ノーマル ▶
バックカラー	◀ ブラック ▶
EDID	◀ EDID1 ▶
投写方式1	◀ フロント ▶
投写方式2	◀ フロア ▶
ファン制御	◀ 標準 ▶
ランプパワー	◀ ノーマル ▶
ランプ使用時間	5時間
◆ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

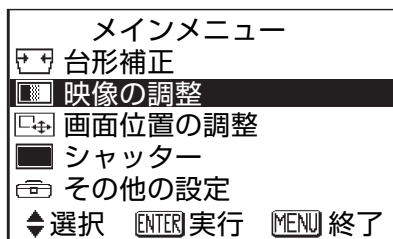
本体操作部

TEMP LAMP POWER STANDBY(R) ON(G) MENU KEYSTONE ENTER INPUT

① メニューボタンを押す。
(MENU)

メインメニュー
台形補正
映像の調整
画面位置の調整
シャッター
その他の設定
選択　ENTER 実行　MENU 終了

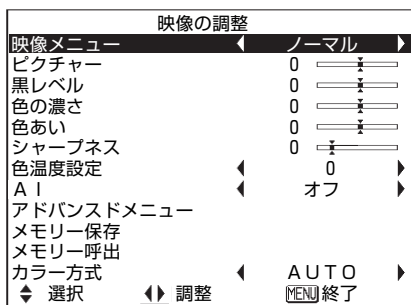
● メインメニュー画面を表示します。

② ▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ。

● 選択中の項目は青色で表示します。

③ エンターボタンを押して実行する。
(ENTER)

映像の調整

項目	設定
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
カラー方式	◀ AUTO ▶

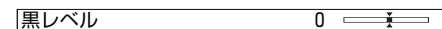
選択　◀▶ 調整　MENU 終了

● 選択したメニューや調整画面が表示されます。(例：映像の調整)

お知らせ

- メニュー画面が表示されている状態でメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。

④ ▲または▼ボタンを押して項目を選び、◀または▶を押して設定の切り換えや調整を行う。

バースケールの項目は、下図のような個別調整画面が表示されます。

黒レベル　0

調整値が工場出荷状態以外になるとバースケールが緑色になります。
項目名のみの項目は、エンター(ENTER)ボタンを押せば、選んだ項目のメニューが表示されます。

表示されないオンスクリーン項目について

本機には入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、オンスクリーンの項目が表示されず、エンター(ENTER)ボタンを押しても実行できません。

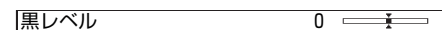
調整値を工場出荷状態に戻す

リモコンのノーマル(NORMAL)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。ただし、表示されている画面によって動作が異なります。

- **メニュー画面表示時**

表示されている項目がすべて工場出荷時の状態に戻り、バースケールが白色表示になります。

- **個別調整画面表示時**

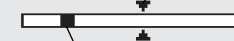
黒レベル　0

調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻り、バースケールが白色で表示されます。

お知らせ

- バースケールの上下の三角マークは、工場出荷状態を示しています。三角マークが無い項目は、工場出荷状態に戻せません。また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。

工場出荷時の標準値を示しています。

現在の調整値を示しています。

調整・設定

映像を調整する

▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。項目名のみの項目は、エンター(ENTER)ボタンを押して、次のメニュー画面を表示させせます。

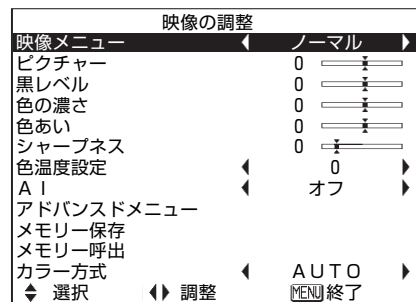
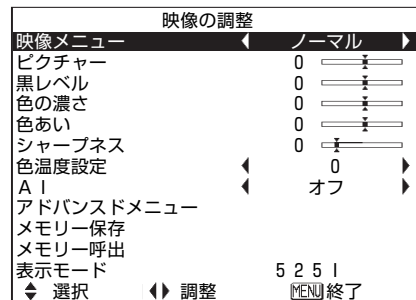
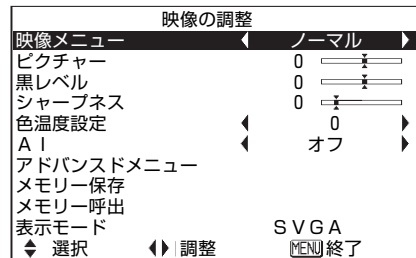
Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像の調整	
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
カラー方式	◀ AUTO ▶
⬍ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

YPBPR/D映像/PC信号入力時

映像の調整	
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
表示モード	525 I
⬍ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

DVI信号入力時

映像の調整	
映像メニュー	◀ ノーマル ▶
ピクチャー	0
黒レベル	0
シャープネス	0
色温度設定	◀ 0 ▶
A I	◀ オフ ▶
アドバンスドメニュー	
メモリー保存	
メモリー呼出	
表示モード	SVGA
⬍ 選択　◀▶ 調整	MENU 終了

映像メニュー

29ページを参照してください。

ピクチャー

色の明暗度を調整します。(黒レベルを先に調整してください。)

明るい場合： ◀ボタン
暗い場合： ▶ボタン

黒レベル

画面の暗い部分(黒色)を調整します。

黒が浮いている場合： ◀ボタン
黒がつぶれている場合： ▶ボタン

色の濃さ

(Sビデオ/ビデオ/YPBPR/PCのみ)

色が濃い場合： ◀ボタン
色がうすい場合： ▶ボタン

お知らせ

- PC信号入力時は、HDTV60/HDTV50信号のみ調整が行えます。

色あい

(NTSC/NTSC4.43/YPBPR/PCのみ)
肌色の部分を調整します。

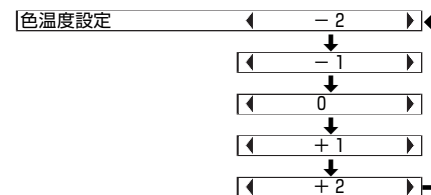
緑色がかった色の場合： ◀ボタン
赤紫色がかった色の場合： ▶ボタン

お知らせ

- PC信号入力時は、HDTV60/HDTV50信号のみ調整が行えます。

シャープネス

やわらかい感じにしたい場合： ◀ボタン
はっきりきわだたせる場合： ▶ボタン

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えてください。

AI

映像に合わせてランプ制御を行い、最適な映像を投写します。

「AI-1」 よりしっとり感のある映像表現にします。
「AI-2」 よりメリハリ感のある映像表現にします。
「オフ」 AIを無効にします。

お知らせ

- ランプパワーを「エコノミー」に設定するとAIは無効になります。(45ページ参照)

アドバンスドメニュー

映像の調整をさらに微妙に調整することができます。
エンター（ENTER）ボタンを押すと「アドバンスドメニュー」が表示されます。

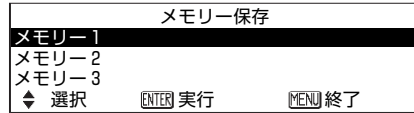
「**ガンマ高／中／低レベル**」は、明るいシーンや暗いシーンの階調補正が行えます。

- 明るいシーンの階調性を補正する場合は、主に「ガンマ高レベル」を調整。
- 暗いシーンの階調性を補正する場合は、主に「ガンマ低レベル」を調整。

「**コントラストR／G／B**」、「**ブライトR／G／B**」は、色温度設定をさらに詳細に調整することができます。

- 主に白色を中心に調整する場合は、「コントラストR／G／B」を調整。
- 主に黒色を中心に調整する場合は、「ブライトR／G／B」を調整。

メモリー保存

エンター(ENTER)ボタンを押すと、「メモリ保存メニュー」が表示されます。

映像調整した設定内容を保存することができます。▲▼ボタンで保存するメモリー番号を選び、エンター(ENTER)ボタンを押してください。メモリー保存確認画面が表示されますので◀▶ボタンで「実行」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

お知らせ

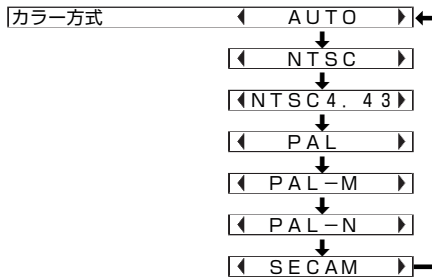
- メモリー保存は、下記の2つの区分で3つまで保存できます。(合わせて6つまで保存可能)

Sビデオ、ビデオ、YPBPR、D4、PCとDVIのHDTV50/HDTV60の信号。
PCとDVIの信号。(ただしHDTV50/HDTV60の信号は除く。)

メモリー呼出

エンター(ENTER)ボタンを押すと、「メモリー呼出」メニューが表示されます。(「メモリー保存」で設定を保存していない場合は、「メモリー呼出」の項目は表示されません。)
呼び出し方法については、33ページを参照してください。

カラー方式

(Sビデオ/ビデオのみ)

通常は「AUTO」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのカラー方式に設定を変えてください。

お知らせ

- 「AUTO」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/PAL-M/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

表示モード

(PC/YPBPR/D4/DVIのみ)
現在投写している信号名を表示します。信号の詳細については56ページの表をご覧ください。

sRGBに対応した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。sRGBに対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

① ▲▼ボタンを押し「映像メニュー」を選択し、◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する。

② リモコンのノーマル(NORMAL)ボタンを押す。

③ 44、45ページの「その他の設定」メニューから、▲▼ボタンを押し「ランプパワー」を選択し、◀▶ボタンで「ノーマル」に設定する。

画面位置を調整する

パソコンなどのPC入力時は、まず「自動位置補正」を選択しエンター(ENTER)ボタンを押して自動位置補正を行ってください。自動位置補正を行っても最適な設定にならない場合は、以下の調整を行ってください。

▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。

Sビデオ/ビデオ/DVI信号入力時

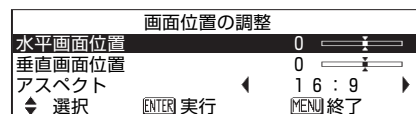
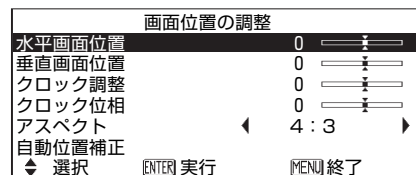
画面位置の調整		
水平画面位置	0	
垂直画面位置	0	
アスペクト	◀ 16：9 ▶	
⇕ 選択	ENTER 実行	MENU 終了

※ DVI信号入力時は、「アスペクト」の設定のみ行えます。

YPBPR/D映像信号入力時

画面位置の調整		
水平画面位置	0	
垂直画面位置	0	
クロック位相	0	
アスペクト	◀ 4：3 ▶	
⇕ 選択	ENTER 実行	MENU 終了

PC信号入力時

画面位置の調整		
水平画面位置	0	
垂直画面位置	0	
クロック調整	0	
クロック位相	0	
アスペクト	◀ 4：3 ▶	
自動位置補正		
⇕ 選択	ENTER 実行	MENU 終了

水平画面位置

(Sビデオ/ビデオ/YPBPR/D映像/PCのみ)

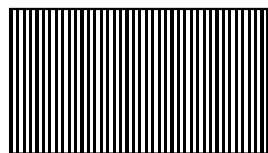
映像を左に移動： ◀ボタン
映像を右に移動： ▶ボタン

垂直画面位置

(Sビデオ/ビデオ/YPBPR/D映像/PCのみ)

映像を下に移動： ◀ボタン
映像を上に移動： ▶ボタン

クロック調整

(PCのみ)
下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合に◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。

クロック位相

(PC/YPBPR/D映像のみ)
「クロック調整」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ

- ドットクロック周波数が100 MHz以上の信号を投写時は、「クロック調整」や「クロック位相」を調整してもノイズがなくならない場合があります。
- YPBPR/D映像信号入力時は、HDTV60/HDTV50/750p信号時のみ「クロック位相」の調整が行えます。

アスペクト

30ページを参照してください。

自動位置補正

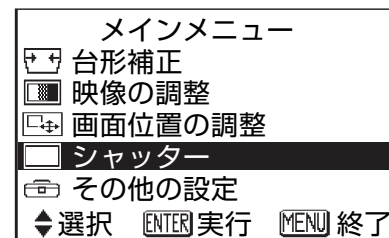
(PCのみ)
「水平画面位置」、「垂直画面位置」、「クロック調整」、「クロック位相」を入力信号に合わせて、自動的に調整します。

お知らせ

- アスペクト設定(30ページ)が「Vスクロール」に設定されている場合は、自動位置補正を行うことができません。

シャッター機能を使う

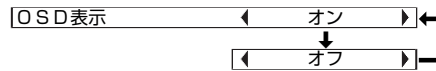
一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消して、消費電力が少ないシャッターモードにすることができます。

メインメニュー		
台形補正		
映像の調整		
画面位置の調整		
シャッター		
その他の設定		
⇕選択	ENTER 実行	MENU 終了

① メインメニューの「シャッター」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す。

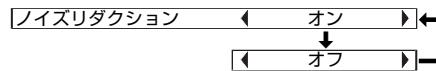
② リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。
[ただし、ライト(LIGHT)ボタンは除く。]

その他の設定

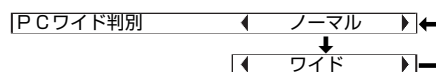
▲▼ボタンで項目を選択し、
◀▶ボタンを押して設定を切り換えてください。

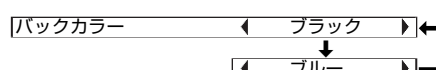
OSD表示

「オン」 入力信号切り換え時に信号名を画面右上に表示します。
「オフ」 信号名を表示させたくない場合に設定してください。

ノイズリダクション

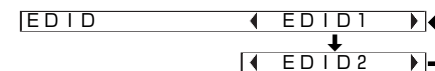
(YPBPR/D映像のみ)

入力された信号が劣化しているため、映像にノイズが発生している場合は「オン」に設定してください。ノイズリダクションを無効にしたい場合は「オフ」に設定してください。

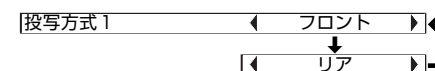
PCワイド判別

(PCのみ)

「ノーマル」 お使いのパソコンのディスプレイが4:3の場合。
「ワイド」 お使いのパソコンのディスプレイが16:9の場合。

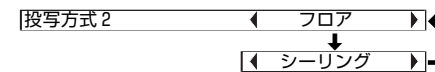
バックカラー

本機に信号が入力されていない時のバック画面の色を設定します。

EDID

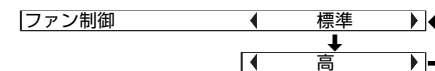
(DVI信号のみ)

DVI信号で525p、625p、HDTV60、HDTV50、750pの信号を入力される場合は、「EDID1」に設定してください。
パソコンのDVI信号の場合は、「EDID2」に設定してください。

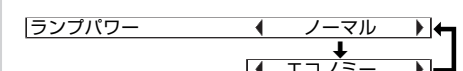
投写方式 1

本機の設置方法によって切り換えます。（18ページ参照）

「フロント」 スクリーンの前方に設置する場合。
「リア」 透過式スクリーンを使用する場合。

投写方式 2

本機の設置方法によって切り換えます。（18ページ参照）

「フロア」 机の上などに設置する場合。
「シーリング」 天吊り金具（別売品）を使用して設置する場合。

ファン制御

海抜1 400 m以上でのご使用の場合のみ、「高」に設定してください。

ランプパワー

ランプの明るさを切り換えます。「エコノミー」に設定すると輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。狭い会議室など高い輝度を必要としない場合や、映画などをご覧になる場合は「エコノミー」に設定されることをおすすめします。

お知らせ

- 信号が入力されていない場合は、設定できません。

ランプ使用時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。ランプユニットを交換する場合は、50ページのランプユニットの交換手順どおりに交換し、ランプ使用時間を「0」にしてください。

お知らせ

- ランプの寿命は使用条件(「ランプパワー」の設定や電源の入切の回数など)により変わります。

温度、ランプモニターが点灯したら
(TEMP)　(LAMP)

本機には内部の状態を知らせる温度(TEMP)とランプ(LAMP)のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせしますので、電源を切り、次の処置をしてください。

温度(TEMP)モニター
ランプ(LAMP)モニター

本体操作部

温度(TEMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯(映像投写中)	赤色点滅(映像投写中)	赤色点滅(スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	内部が異常に高温になっている、または急激な温度変化が生じている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
ここをお調べください	• 通風孔がふさがれていませんか。 • 気温の高いところで使用していませんか。 • エアーフィルターが目づまりしていませんか。		
処置のしかた	• 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 • 周囲温度0 ℃～40 ℃、周囲湿度20 %～80 %(非結露)の場所に設置してください。[45ページの「ファン制御」を「高」に設定している場合は、周囲温度0 ℃～35 ℃、周囲湿度20 %～80 %(非結露)の場所に設置してください。] • 26ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアーフィルターの清掃(48ページ参照)を行ってください。		

お願い

- 温度(TEMP)モニター、ランプ(LAMP)モニターの表示により処置を行うときの電源操作は26ページの電源の切りかたの手順を必ずお守りください。
- 温度(TEMP)モニター点滅後、主電源(MAIN POWER)スイッチが切れた場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

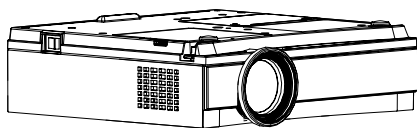
ランプ(LAMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している	
ここをお調べください	• 本機の電源を入れた時に「ランプ交換」というオンスクリーン表示がされていませんか。	• 電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。	• ランプ回路に異常が発生しています。
処置のしかた	• ランプユニットの使用時間が1 800時間(ランプパワー「ノーマル」設定時)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を行ってください。	• 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。	• 26ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。

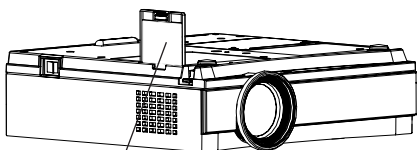
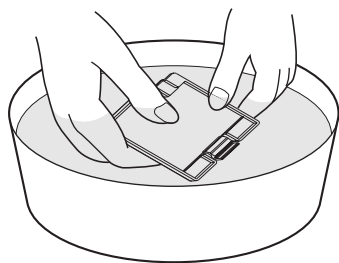
エアーフィルターの掃除・交換

エアーフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点滅し、電源が切れます。掃除は約100 時間を目安に行ってください。

① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。
26ページの「電源の切りかた」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

② 本機を静かに裏返す。

お願い

- 本機に傷がつかないよう、毛布などの上に裏返して置いてください。

③ エアーフィルターを外す。
エアーフィルターにつめをかけて本機から引き出します。

④ エアーフィルターを掃除する。
水につけて、手でほこりを洗い流してください。

お願い

- 中性洗剤などは、使用しないでください。
- フィルターが枠からはがれないように気をつけて洗ってください。

⑤ エアフィルターを乾燥させたあと取り付ける。

お願い

- エアーフィルターは必ず取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ

- 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアーフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアーフィルターも交換ください。

ランプの交換

⚠警告

■ランプユニットの交換はランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

ランプユニット交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。

お知らせ

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
  ランプユニット品番：ET-LAE500(サービス部品扱い)
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。
交換の目安は2 000時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、2 000時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。
早めのランプユニットの準備をお勧めします。
2 000時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、自動的に消灯します。

お知らせ

- この説明で記載している使用時間は、「その他の設定」メニューの「ランプパワー」を「ノーマル」に設定して使用された場合の時間です。「エコノミー」に設定して使用されますと、明るさが低下しますが、長くランプを使用することができます。
- 2 000時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、60ページや保証書をご覧ください。

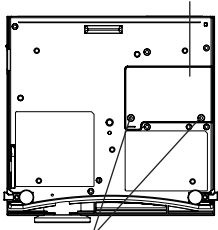
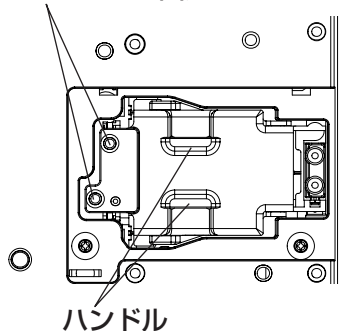
	オンスクリーン表示	ランプ(LAMP)モニター
	ランプ交換	LAMP
1 800時間以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

ランプユニットの交換手順

お願い

- ランプユニットの使用時間が2 000時間(ランプパワー「ノーマル」設定時)を越えた場合は、電源を入れてから約10 分間のみ本機を動作させることができます。手順⑦〜⑩の操作を10 分以内に行ってください。

① 26ページの電源の切りかたの手順を守り、主電源(MAIN POWER)スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。

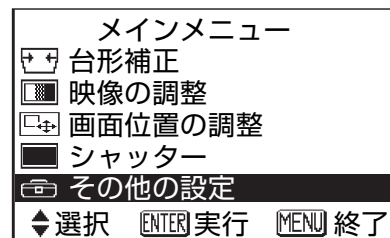
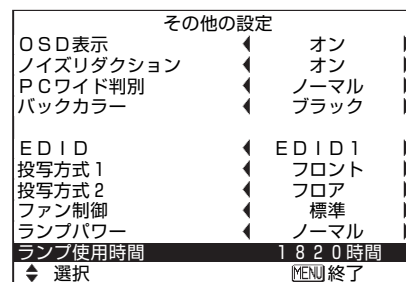
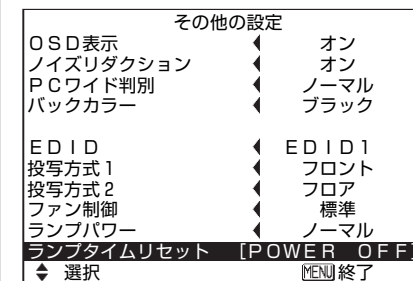
② 本機底面のランプユニット収納扉固定ねじ(2 本)をプラスドライバーで回し、ランプユニット収納扉を外す。

③ ランプユニットを固定しているねじ(2 本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す。

④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける。

⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(2 本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる。

⑦ 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する。

⑧ メニュー(MENU)ボタンを押し、「メインメニュー」画面表示させ▲▼ボタンでカーソルを「その他の設定」の項へ移動する。

メインメニュー
台形補正
映像の調整
画面位置の調整
シャッター
その他の設定
◆選択 ENTER 実行 MENU 終了

⑨ エンター(ENTER)ボタンを押し、「その他の設定」画面表示させ▲▼ボタンで「ランプ使用時間」の項を選択する。

⑩ エンター(ENTER)ボタンを約3 秒間押し続ける。

「ランプ使用時間」が「ランプタイムリセット［POWER OFF]」の表示に変わります。

お知らせ

- メニュー(MENU)ボタンを押せば、ランプタイムリセットの設定画面を解除します。

⑪ 電源を「切」にする。

ランプ使用時間が「0」にリセットされます。
電源の切りかたは26ページをご覧ください。

お願い

- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 • 主電源(MAIN POWER)スイッチが「切」になっていませんか。 • コンセントに電源がきていますか。 • 温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。 • ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。	– – – 46 –
映像がでない	• 映像入力は正しく接続されていますか。 • 入力切り換えの設定が正しくなっていますか。 • 黒レベル調整が最小になっていませんか。 • 本機に接続している機器は正常に動作していますか。 • シャッター機能を使用していませんか。	– 25 38 – 43
映像がボヤけている	• レンズキャップがかぶさったままではありませんか。 • レンズのフォーカスは合っていますか。 • 投写距離は適切ですか。 • レンズが汚れていませんか。 • 本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。	– 25 19 – 19
色が薄い／色あいが悪い	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 • 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	38 –
リモコンが働かない	• 乾電池が消耗していませんか。 • 極性は正しくセットされていますか。 • リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。 • リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。 • 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	– 23 23 23 23
正常な映像が映らない	• カラー方式の選択は正しく行われていますか。 • ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。 • 本機が対応できない信号を入力していませんか。	40 – 56
パソコンからの映像が映らない	• ケーブルが長すぎませんか。 • ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例：「Fn」+「F3」あるいは「Fn」+「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)	– –

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットは柔らかい乾いた布で

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

仕様

項目	仕様
使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	180 W(リモコンスタンバイ時約0.5 W ただし、ファン停止時)
液晶パネル	
パネルサイズ	0.7 型(アスペクト比16:9)
表示方式	透過型液晶パネル3 枚 3 原色方式
駆動方式	アクティブマトリクス方式
画素数	921 600 画素(1 280×720 ドット) ×3 枚
レンズ	マニュアルズーム(1〜1.2)・フォーカス レンズ F 1.9〜2.2、f 22.0 mm〜26.2 mm
光源ランプ	130 W UHMランプ
光出力	850 lm
対応走査周波数(RGB信号時)	
水平走査周波数	30 kHz〜70 kHz
垂直走査周波数	50 Hz〜87 Hz
ドットクロック周波数	100 MHz未満
YPBPR信号	525i(480i)、525p(480p)、 625i(576i)、625p(576p)、 750p(720p)、1 125i(1 080i)
カラー方式	7方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/ PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM)
投写画面サイズ	40 型〜200 型
投写距離	1.2 m〜7.4 m
光軸シフト量	17：1 (固定)
画面アスペクト比	16：9
投写方式	フロント/リア/天つり/床置き (メニュー 設定方式)
接続端子	
ビデオ入力端子	
S2映像	1 系統　Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω
映像	1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
PC入力端子	
RGB	1系統 高密度 D-sub 15p(メス)
R、G、B:	0.7 V [p-p] 75 Ω
G･SYNC:	1.0 V [p-p] 75 Ω
HD/SYNC:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
VD:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
コンポーネント映像入力端子	
Y、PB/CB、PR/CR	1 系統　RCA ピンジャック×3
Y:	1.0 V [p-p](同期信号を含む) 75 Ω
PB/CB、PR/CR：	0.7 V [p-p] 75 Ω
D4	1 系統　D4映像
DVI-D入力端子	1 系統　DVI-D　24ピン
トリガー出力端子	1 系統　M3ジャック 電源入時（映像投写中）12 V 電源切時　0 V
電源コードの長さ	3.0 m
キャビネット	樹脂成型品(ABS/PC)
外形寸法	横幅　280 mm（突起部は除く） 高さ　85 mm 奥行　269 mm（レンズは除く）
質量	2.9 kg
使用環境条件	使用周囲温度　0 ℃〜40 ℃ (ただし、 45ページの「ファン制御」を「高」に設 定している場合は、0 ℃〜35 ℃) 使用周囲湿度　20 %〜80 % (結露のな いこと)
<リモコン>	
使用電源	DC 3 V(単4形乾電池2個)
操作距離	約7 m (受光部正面)
質量	70 g(乾電池含む)
外形寸法	横幅　43 mm 高さ　135 mm 厚さ　22.3 mm
<オプション>	
天つり金具	TY-PKE300
スクリーン	TY-SR90CT(幅1 800 mm) TY-SR70CT(幅1 400 mm)
テレコンバージョンレンズ	TY-LECTE300
ワイドコンバージョンレンズ	TY-LECWE300

※ この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

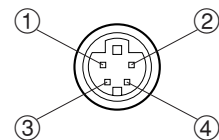
付録

対応信号リスト

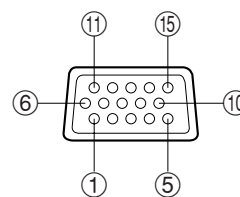
表示モード	解像度(ドット)*1	走査周波数		ドットクロック周波数(MHz)	画質*2	フォーマット
		水平(kHz)	垂直(Hz)			
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.734	59.940		A	Video/S-Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.625	50.000		A	Video/S-Video
525i	720 x 480i	15.734	59.940	13.500	A	YPBPR/D4
625i	720 x 576i	15.625	50.000	13.500	A	YPBPR
525p	720 x 483	31.469	59.940	27.000	A	YPBPR/D4/DVI
625p	720 x 576	31.250	50.000	27.000	A	YPBPR/DVI
HDTV60	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250	AA	YPBPR/D4/PC/DVI
HDTV50	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250	AA	YPBPR/PC/DVI
750p	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250	AA	YPBPR/D4/DVI
VGA480	640 x 480	31.469	59.940	25.175	A	PC/DVI
	640 x 480	35.000	66.667	30.240	A	PC
	640 x 480	37.861	72.809	31.500	A	PC
	640 x 480	37.500	75.000	31.500	A	PC
	640 x 480	43.269	85.008	36.000	A	PC
	640 x 480	72.090	138.000	62.284	A	PC
WIDE480	856 x 480	30.057	60.114	31.500	A	PC/DVI
SVGA	800 x 600	35.156	56.250	36.000	A	PC
	800 x 600	37.879	60.317	40.000	A	PC/DVI
	800 x 600	48.077	72.188	50.000	A	PC
	800 x 600	46.875	75.000	49.500	A	PC
	800 x 600	53.674	85.061	56.250	A	PC
	800 x 600	72.080	112.000	77.849	A	PC
WIDE600	1 072 x 600	37.287	59.947	51.382	A	PC/DVI
WIDE720	1 280 x 720	45.106	60.141	76.500	AA	PC/DVI
XGA	1 024 x 768	48.363	60.004	65.000	A	PC/DVI
	1 024 x 768	56.476	70.069	75.000	A	PC
	1 024 x 768	60.023	75.029	78.750	A	PC
	1 024 x 768	68.678	84.997	94.500	A	PC
	1 024 x 768	72.080	89.000	99.185	A	PC
WIDE768	1 280 x 768	45.327	56.518	76.150	A	PC/DVI
MXGA	1 152 x 864	63.995	71.184	94.200	A	PC
	1 152 x 864	67.500	74.917	108.000	A	PC
SXGA	1 280 x 1 024	63.981	60.020	108.000	A	PC/DVI
WIDE768-2	1 360 x 768	48.830	59.841	73.831	A	PC/DVI

*1 解像度の後ろの “i” は、インターレース信号を示しています。
*2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA 最高の画質で投写できます。
A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

接続端子のピン配列

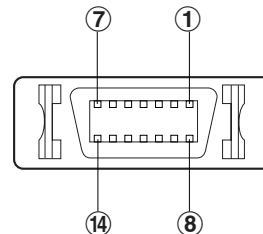
- S2映像(S2 VIDEO)入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。

外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- PC用RGB入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。

外側から見た図

ピンNo.	信号
①	R
②	G/G・SYNC
③	B
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

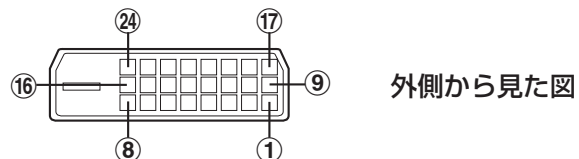
⑨は未使用
④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。
⑫、⑮はパソコン側に機能があれば有効です。

- D4映像入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。

外側から見た図

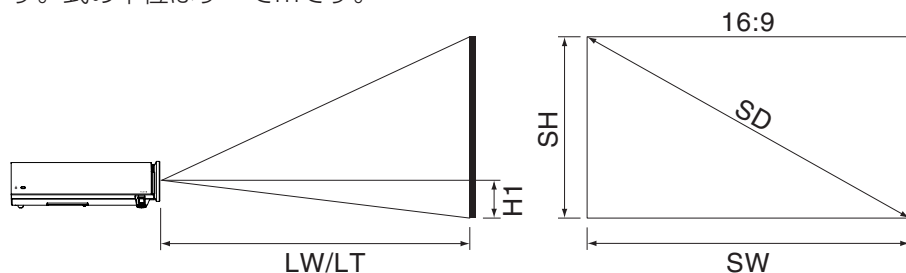
ピンNo.	信号
①	Y
②	GND（Y）
③	PB
④	GND（PB）
⑤	PR
⑥	GND（PR）
⑪	識別信号ライン（3）
⑫	GND

⑦～⑩、⑬、⑭は未使用

その他

• DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、下記の通りです。
（TMDS付パソコン用端子）

ピンNo.	信　号	ピンNo.	信　号
①	T.M.D.Sデータ2−	⑬	T.M.D.Sデータ3+
②	T.M.D.Sデータ2+	⑭	+5V
③	T.M.D.Sデータ2/4シールド	⑮	GND
		⑯	ホットプラグ検出
④	T.M.D.Sデータ4−	⑰	T.M.D.Sデータ0−
⑤	T.M.D.Sデータ4+	⑱	T.M.D.Sデータ0+
⑥	DDCクロック	⑲	T.M.D.Sデータ0/5シールド
⑦	DDCデータ		
⑧	—	⑳	T.M.D.Sデータ5−
⑨	T.M.D.Sデータ1−	㉑	T.M.D.Sデータ5+
⑩	T.M.D.Sデータ1+	㉒	T.M.D.Sクロックシールド
⑪	T.M.D.Sデータ1/3シールド	㉓	T.M.D.Sクロック+
⑫	T.M.D.Sデータ3−	㉔	T.M.D.Sクロック−

投写寸法の計算式

投写画面対角寸法SD(m)から投写距離などの寸法を計算することができます。式の単位はすべてmです。

画面幅：SW=SD×0.872
画面高さ：SH=SD×0.490
最短投写距離：LW=1.229×SD-0.0381
最長投写距離：LT=1.481×SD-0.0381
レンズセンターから投写画面下端：H1=SW÷32

用語集

EDID
Extended Display Identification Dataの略。DVI-D入力端子に接続したパソコンに本機の機種名や設定値を伝えるデータ。適切な解像度で表示することを目的としている。

DVI
Digital Visual Interfaceの略。パソコンとディスプレイを接続するためのインターフェース規格。RGB信号をデジタル信号のまま送るため、信号の劣化がなくなり画質が向上する。

D端子(D4入力端子)
D端子は、コンポーネントビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子。制御信号は、自動的に走査線とアスペクト比を切り換えるための信号。

RGB
Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の光の3原色。プロジェクターや、モニタ、カラーテレビなどでは、この3つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。

S（S2）ビデオ信号
Sビデオ信号は、映像信号を輝度信号（Y）と色信号（C）に分離し高画質化を図った信号。S2は、Sビデオ信号に加え、ワイド映像を自動判別するための識別信号が付加された信号。

アクティブマトリクス方式
液晶パネルの駆動方式のひとつ。画素の1つ1つに対応するアクティブ素子を追加しているため、クリアで応答速度が速い。

色温度
ある色の光と同等の光を放射する黒体の絶対温度をいう。色温度が高い光ほど青っぽく、色温度の低いほど赤っぽい光になる。

コンポーネントビデオ信号
Sビデオ信号より、さらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Yは輝度、P_B(C_B)は青系、P_R(C_R)は赤系に分けて送る色差方式の信号。

台形ひずみ
スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると映像が台形の形にひずんで投写されること。

テレ
ズームレンズの望遠側。焦点距離の長い側を指す。

偏光板
特定の方向に振動している光だけを通過させる性質を持ったもの。

ワイド
ズームレンズの広角側。焦点距離の短い側を指す。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

1. 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体1年間。
ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

3. 修理を依頼されるとき

52ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。ただし、1年未満でも長時間使用による液晶パネルや偏光板などの光学部品の消耗劣化交換は、有料になる場合があります。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

[技術料] は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

[部品代] は、修理に使用した部品および補助材料代です。

[出張料] は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北海道地区					
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）☎(0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151				

東北地区					
青森	青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	**岩手**	盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**山形**	山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0503

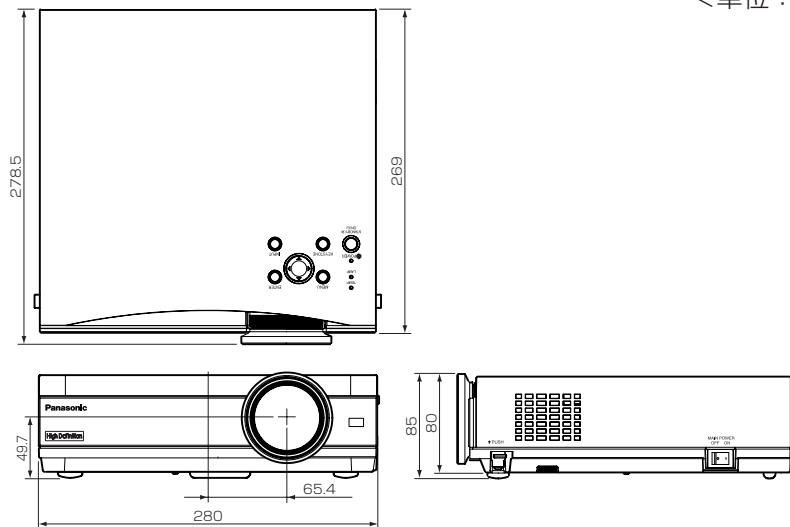
商標について

- VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

外形寸法図

＜単位：mm＞

278.5
269

愛情点検	長年ご使用のプロジェクターの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- 電源入切時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ 以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため、26ページの手順でコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	TH-AE500
販売店名	☎（　　　）ー		
お客様ご相談窓口	☎（　　　）ー		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

S0903-3123D

Panasonic 液晶プロジェクター TH-AE500 取扱説明書